

MICE施設を念頭に置いた 土地取得特別会計補正予算を否決

◎議案の概要

MICE施設を念頭に置いた交流拠点施設用地として、長崎駅西側の日本貨物鉄道株式会社（JR貨物）所有の土地を市が先行取得しようとするもので、環境経済委員会において審査が行われました。

◎主な質疑の内容

- ・市民や議会が事業の詳細を熟知していない現状で、土地の取得費のみを提案することに対する見解
- ・用地交渉経緯について、これまで市民や議会に説明がなされなかった理由
- ・賃貸ではなく買取とすることの優位性
- ・JR貨物と対等な立場での用地交渉のあり方
- ・土壤汚染調査の実施主体と対策工事に要する費用の考え方
- ・出島常盤地区などの県有地での施設整備に関する協議の有無
- ・誘致ターゲットに想定している中規模学会の想定開催件数
- ・MICE施設の建設ではなく他の観光資源を磨くことにより観光客等を誘致する考え

◎主な反対意見

- ・現時点ではMICE事業による経済波及効果がはっきりしておらず、少子高齢化の進展により、莫大な借金を背負うことになる。
- ・既存施設で十分にコンベンションが開催できている実績があり、MICE施設の必要性が感じられない。
- ・産学官の一体感が見られない。
- ・多額の費用が必要な重大事業であるにも関わらず、市民が納得するような十分な説明がなされていない。
- ・MICE施設を整備する前に、待機児童の問題等、山積している課題に取り組んでいくことが急務である。
- ・議会に説明もないままにJR貨物と重要事項を取り交わしており、市の独断専行のそしりは免れない。

◎賛成意見

- ・今回の土地は優良地で、民間の手に委ねられた開発が進めば、中心市街地の活性化に多大な影響を及ぼすため、公共用地を取得するという観点で捉えたい。

◎採決結果

以上の審査により、環境経済委員会では、賛成少数で原案を否決し、本会議最終日においても、賛成少数で原案を否決しました。



▲西坂公園の日本二十六聖人

そのため、まずは日本二十六聖人記念館の受入の意向や体制等について調査していきたい。その上で、信徒発見150周年を契機とした「踏み絵」の日本二十六

問 長崎奉行所で保管されていた「踏み絵」の実物が東京国立博物館に収蔵されている。日本二十六聖人記念館が、「踏み絵」を長崎に里帰りさせた上で常設展示を希望していると聞いているが、市長が仲介する考えはないのか。
答 東京国立博物館に収蔵されている「踏み絵」は、国の重要文化財に指定されており、展示環境について、湿度、採光など厳しい基準が設けられていることから、その管理については慎重を期す必要がある。



▲市立伊良林保育所

よう求め、配慮がなされている。さらに、建築物の設計に際しても、建築物と保育所敷地との距離をとるために、建築物の配置が変更されている。今後は、児

問 市立伊良林保育所に隣接して高さ40mのマンションが建設されている。法令に則った計画とはいえ、日照時間の減少など、保育所の環境として適切な見解を伺いたい。
答 本件の建築計画については、これまで「長崎市中高層建築物等の建築紛争の予防に関する条例」に基づく説明会などの後、建築確認を受け、工事に着手されている。また、児童の保育環境と安全を守る立場から建築主に対し、工事にかかる騒音等に十分注意を払う

一般質問

市民クラブ

信徒発見150周年を契機とする「踏み絵」の里帰り

伊良林保育所の環境保全

9月定例会では、9月14日から19日までの4日間にわたり、1416人による個人質問が行われました。

聖人記念館での展示について、年内にも収蔵者である東京国立博物館と調整を図っていきたい。